

洩矢 諏訪子

(もりや・すわこ)

能力：『坤を創造する程度の能力』

所属：[守矢神社](#)(第10回大会より参戦)

ファイト・スタイル

守矢神社のイージス

現状では[守矢神社](#)でのタッグ・ユニットがメインでシングル経験は無い。

[早苗](#)や[神奈子](#)との息のあった連携と、味方を回復させるための耐え役に徹する事が多い。

諏訪子がリングインしている時間帯がやや緩い展開になってしまう事も否めないが

それを払拭するかの如く運動量や躍動感溢れる技の数々は

[守矢神社](#)の[神奈子](#)、[早苗](#)とは違った色を示している。

ケロちゃんヤッホー

うつ伏せに倒れた相手の腕を取り、観客にアピールした後、その腕、反対側の足、反対側の腕の順で一度に極める、その名前からは想像も付かない高度な複合関節技。

より正確に描写すると、まず相手の右腕を右手で掴んで持ち上げ、左足で跨ぎこしてから膝を付いて

両足で挟み込む形にする。さらに、相手の左足を右脇で抱え込み、片エビ固めのようにそり上げ、

そこから相手の左腕を左手で取って、先ほど掴んだ左足の下に差し込むことで完成。

そこから自分の体重を後ろに預けることで、極めた部分にダメージを与えていく。

当然ながら、左右を逆にしても成立する。

オリジナルは斎藤了(DragonGate)のサイクリング・ヤッホー(現在の技名はダンシング・ヤッホー)。

ケロちゃんスプラッシュ

コーナートップからの屈伸式ダイビングボディプレス。小柄な諏訪子ならではの美しい跳躍が見物で、諏訪子がコーナーに上がると、この技を期待するファンのコールが一斉にかかる。

ここからの丸め込みでの3カウントによるピンフォールが、ケロちゃんの黄金勝ちパターンといえる。

最初の方は大きく背を反り過ぎるために、命中しても自分で腹を抱えて痛がっていたが、

近頃はスプラッシュの後フォールに持ち込む形に変えている。

オリジナルは初期型がロブ・ヴァン・ダムファイブスターズスプラッシュ、

後期型が故エディ・ゲレロなど多数の使い手がいるフロッグ・スプラッシュ。

(元祖はラブ・マシーンこと故アート・バー)

蛙落とし

ちなみに読み方は「かわずおとし」である。「かえるおとし」でも「ケロちゃんおとし」でもない。

相手の足に自分の足を絡め(この足を絡めた状態を蛙掛け(かわずがけ)という)、そのまま背後に引き落とす。

受けた相手はマットに叩きつけられるため、全身に万遍なくダメージを負う。プロレスの受け身のやり方を

知らないでかけられた場合は、そのまま失神することすらあるという、見た目以上の威力を持つ技である。

諏訪子は、場合によって連発で使ったり、逆に前に倒す「リバース蛙落とし」という技を使うことがある。

バックを取られた時の返し技としてもしばしば披露しており、

そのネーミング以上に、守りのレスリングを信条とする諏訪子を象徴する技である。

元々は相撲の技であり、プロレスでは故ジャイアント馬場が使った河津(かわづ)落としが有名。

ちなみに「リバース蛙落とし」はジェフ・ジャレット(TNA)が使用しているストロークと同型

ケロちゃんカッター

その高い跳躍力を生かした技で、諏訪子の持つ技でも特にダイナミックな技である。

まず、相手をロープにふるなどして相手を走らせる。

そして向かってきたところに自らの体をもぐりこませ、正面から両手でリフトアップさせる。

そのまま相手を真上に放り投げたあと、自らもジャンプしつつ、相手の首もしくは顔を自分の肩に固定してエースクラッシャーの形で相手にダメージを与えるというもの。

簡潔に言うと、3Dの動作を一人で行うものに近い。

掛ける側もかなり体力を使うらしく、ほとんど見られない技でもあるが、ケロちゃんの技では

ケロちゃんスプラッシュと並ぶダイナミックな大技のため、これが出ると歓声上がる

オリジナルはジョニー・エースのメキシカンエースクラッシャーである。

ちなみに、技名のメキシカンの由来は、この動作がルチャリブレのように華麗であることからつけられたという。

KKK

正面から組み、相手の頭を自分の股下に入れ、腕をチキンウィングの形でロック

そのまま持ち上げ垂直にした状態から落下させる。高角度ベディグリーとも言う。

技名は正しくは「トリプルK」と読むが、「ケロケロケロ」でもよい。

(文は、「東風谷・神奈子・ケロちゃん」と言ったことがある)

オリジナルは闘龍門>NOAHと渡り歩き活躍しながらも突如引退したSUWA選手のFFF。

sakiプロデューサーが、諏訪子のキャラを『SUWA子』とするか迷った、

としながらもちゃっかり組み込んでいたりする技である。

ガマ固め

うつぶせ状態の相手の両足を膝関節で交差するように折り畳み、自分の片足をねじ込んだリバース・インディアンデスロックの体勢からブリッジして相手の首を固める複合関節技。

「ガマ固め」という名称は以前から一部観客の間で使われていたが、37回大会で権が、

38回大会では文もアナウンスしたため、この技名で正式採用されたと思われる。

それまではオリジナルの名称で鎌固めと呼ばれていた。

オリジナルは馳浩や豊田真奈美が得意としている。ちなみに海外ではグレート・ムタが

使っていたことから「ムタロック」と呼ばれている。

変形足4の字固め

相手の両足を変形の4の字に固めつつ、膝十字固めを極める足関節技。

ルナサの使うルナサロックIと同型だが、こちらは敬礼がないのが最大の違い。

オリジナルは“Mr. 200%”安生洋二のグランドクロス200。

タイガースープレックス'04

片足を「抱え式バックドロップ」のように抱える、変形のタイガー・スープレックス。

オリジナルはタイガー・エンペラー(中の人がムシキング・テリーと同じ人)。

その他の技

サイドスープレックス、ツームストンドライバー、プランチャなど

小さな体格だが、跳躍と、耐久力を武器に戦うレスラー。

戦績

[部分編集]

+ 全戦績 -ネタバレを含むので注意-

タイトル歴

LTU王座

初代王者([神奈子](#)・[早苗](#)との[守矢神社組](#)) 防衛5回

受賞歴

2008年度東方プロレス大賞

最優秀3人タッグ賞([守矢一家](#)([早苗](#)&[神奈子](#)))

人間関係

▶ [早苗](#),[神奈子](#)

([守矢神社](#)の巫女・神の関係)

▶ [幽香](#),[永琳](#),[魔理沙](#),[雛](#),[M.D](#)

([O.D.S.](#) 参入初期から抗争を繰り返しており、中立姿勢が強い[守矢神社](#)においても常にライバル意識を持っている)

入場曲

ネイティブフェイス

評

[守矢神社組](#)として第10回より参加。愛称『ケロちゃん』

[守矢神社組](#)では最も小柄ながらその瞬発力を生かした試合展開を繰り広げる。

今日までの強者[神奈子](#),みんなの腋巫女[早苗](#)のキャラクターがあまりにも強力すぎるためリング外や試合後のマイクではあまり目立っていないものの純粋アイドルレスラーであるためファンには非常に人気がある。

しかしながら単なるアイドルレスラーの枠に留まらない

[守矢神社組](#)でも非常に体力のある選手で、

耐えて繋ぐ[守矢神社](#)の守矢戦術の要ともいえる。

それでも、やはり余りに小柄なために心配されているのか、第39回大会現在で、未だに一度もシングルマッチを戦っていない([早苗](#)は、数回シングルマッチの経験があり、[神奈子](#)に至ってはシングル最強である[LSW](#)の五代目王者となっている)。

時折[早苗](#)により放送席に拉致されゲスト解説にされている。

プロレスの知識は偏った形があり、自らも渋い技を使う事の多い諏訪子は

時折その知識を披露しつつも、言葉足らずのため

古参プロレスファンに消されかねない危険な発言を行い関係者を慌てさせている。

☞ ミジャグジさまでいすていにー 第38回大会～

ちなみに、諏訪子のテーマ曲で入場の際、必ず文が口にする「だぁ」「負けないぞぉ」の元ネタはこちら。

<参考資料>

[このページを編集](#)